みなさんおはようございます。第96回兵庫県メーデー実行委員長の那須です。メーデー実行委員会を代表してご挨拶を申し上げます。

本日は、天候にも恵まれ県下各地より多くの働く仲間のみなさんが集い、今年も戦前の労働運動発祥の地、ここ「大倉山公園野球場」で盛大に、第96回兵庫県メーデー神戸中央大会が開催できましたことを、共に喜び合いたいと思います。今年は、子ども様向け抽選会やキッチンカーの配置など、趣向を凝らした大会としました。是非ご家族とともにメーデー式典を楽しんでいただきたいと思います。

そして、本日は公使とも大変お忙しい中、ご来賓として、服部兵庫県副知事、小原（おはら）神戸市副市長、井坂立憲民主党兵庫県連代表、向山国民民主党兵庫県連代表、梶川社民党兵庫県連代表、清宮近畿労働金庫兵庫地区本部本部長、住山こくみん共済 coop 兵庫推進本部本部長、坂本部落解放同盟兵庫県連委員長、池田兵庫退職者連合会長をはじめ多くの皆さまにご臨席賜りました。心より御礼申し上げます。

さて、今年のメーデースローガンは、バックネットにも掲げられております通り、「次代につなぐ　平和の願い！みんなでつくろう　支え合う安心社会と確かな未来（あした）を！」です。

2025 年は、阪神・淡路大震災 30 年そして、戦後・被ばく80年の節目を迎えます。阪神・淡路大震災、第二次世界大戦で多くの方が犠牲になりました。謹んで哀悼の誠を捧げます。街は完全に復興し、震災、大戦の遺構を目にすることはありませんが、震災、戦禍で被害に合われた方の心の痛みは、癒えることはありません。

人類が震災や災害を予知し止めることはできません。しかし、戦争は人々の努力で止めることはできます。

メーデースローガンに込めた「平和の願い」は、不戦への誓いのもと、働く仲間が連帯し、平和・人権そして民主主義を守ることです。

今この瞬間にもウクライナ、パレスチナ、ミャンマーをはじめ、世界各地で戦争や紛争によって、子どもや女性、お年寄りが苦しみ、人権侵害が行われています。

また、北朝鮮によるミサイル発射は、国際秩序を捻じ曲げようとする暴挙で断固反対します。武力ではなく、対話と信頼関係の構築を通じ、戦争や核兵器のない世界、持続可能な世界の実現に向けて不断の努力を続けていくことを、本メーデーにおいて確認し合いたいと思います。

また、昨年のメーデーでは能登半島地震で被災された石川県のみなさんに寄り添い、「被災地の一日も早い復旧・復興」を思い、多くの皆さんから支援カンパが寄せられました。被災地では、まだまだ復旧がすすんでいない状況です。改めて「連帯・支え合い・絆」の大切さを思い、本日も会場でカンパ活動を行っています。是非、ご協力をお願いします。

私たちは、阪神・淡路大震災の経験と教訓を「忘れない」「伝える」「備える」を実践し、「南海トラフ大地震」をはじめ大災害への防災・減災を意識しなければなりません。「自らの命を守る。家族の命を守る。仲間の命を守る」そのために、「支え合う安心社会と確かな未来（あした）」を実践していきましょう。

その上で、3点について思いを述べ挨拶とします。1点目は、2025春季生活闘争についてです。

4 月 17 日発表した連合第4回回答集計結果では、平均賃金方式を採用している労働組合の賃上げ額、率は、昨年実績を上回っています。また、300人未満の中小組合の集計でも、昨年同時期の実績を上回っています。このことは、各労使の真摯な交渉によって「人への投資」の重要性が共有されたものとして評価していますし、連合が掲げている「未来づくり春闘」すなわち、「賃金も、物価も、経済も」上昇する循環型社会にまた、一歩踏み出せたと考えています。

そして、中小、地場の組合はこれから本番を迎えます。言わずもがなですが、企業の99.7%、労働者の 7 割を占める中小企業で働く仲間の賃上げが経済の好循環のカギを握ります。

しかし、取り巻く環境は楽観できません。アメリカのトランプ大統領が推し進める相互関税政策は、今後の中小企業の経営に大きな影響がでることを強く懸念していますし、賃上げ機運に水を差すことにならないか予断を許しません。

トランプ大統領が言う、対日貿易赤字を解消させるための非関税障壁などといった誤った認識を「石破総理」には、是非リーダーシップを発揮していただき、自らがトランプ大統領の誤解を払拭するために行動を起こしていただくことを強く望みますし、国難と言われているこの状況を乗り越えていくために、与野党の垣根を越えて対応策を講じていただくことを強く求めておきたいと思います

連合兵庫としても、中小企業支援につながる取り組みについて、速やかに兵庫県と連携して参りたいと考えています。

2025春闘は、俄かに暗雲が立ち込めている状況ですが、まだまだ多くの組合が賃上げ交渉を行っています。構成組織、連合兵庫が一体となって、闘争を進めることができるよう、皆さんのご支援をお願いします。

2点目は、7月に予定されている参議院選挙についてです。

昨年の衆議院選挙で、与党を過半数割れに追い込むことができました。それに続く、参議院選挙は今後の政権を担う政権選択とも言われています。

石破政権が誕生して7か月が経過しました。「政治とカネ」問題に最もクリーンなイメージのあった石破総理でしたが、派閥裏金事件で昨年の衆議院選挙の非公認候補者の政党支部への2千万円支給や石破総理自らが、初当選した自民党議員に10万円の商品券を配るなど、「石破総理！あなたまで！！」と突っ込みを入れたくなるほど、自民党は既に自浄能力を失っている言わざるを得ません。さらに、2025年度予算成立のために、高額療養費負担見直し方針を巡って、衆議院を通過した予算を参議院で修正し、再び衆議院で審議されるという、憲政史上初となる異常な国会運営となっています。このことひとつとっても、今の与党に憲政担当能力が欠如している証と言えます。

連合は、第27回参議院選挙は、政権交代への足掛かりと位置づけ、参議院においても与党を過半数割れに追い込み、今の政治をリセットすることを方針に掲げました。

その実現には、連合組織内比例候補予定者10名全員の必勝と、兵庫選挙区で連合が推薦する候補者の当選が必須です。

現在、兵庫選挙区において皆さんに連合推薦候補者をお示しできないことをお詫びしなければなりませんが、兵庫選挙区で働く者・生活者の立場に立った議員を誕生させるために、立憲、国民民主党県連と構成組織と緊密に連携し、「人物重視・候補者本位」で可及的速やかに、組合員のみなさんに選択肢が示せるよう調整してまいります。国民の政治への信頼を取り戻すためにともに頑張ることを誓い合いましょう。

3点目は、ジェンダー平等推進についてです。

連合は、性別、年齢、国籍、障がいの有無、就労形態などにかかわらず、やりがいを持って働くことができる社会をめざし、運動を進めています。とりわけ女性活躍推進は、あらゆる取り組みに女性の参画を促し、女性が活き活きと活躍できる環境をめざして、男女間の賃金格差是正、管理者割合など2025春闘でも労使間で交渉を進めています。

そして、連合兵庫も「ジェンダー平等推進計画」フェーズ2を策定し、執行委員会など、意思決定の場への女性参画30%をめざして、政策等へ反映していくため、いわゆる「ジェンダー主流化」を進め最終目標である203050です。これは、「2030年に女性の参画50%」を達成できるようともに進めて行きましょう。

結びに、第96回兵庫県メーデーは神戸中央大会をはじめ、県下各地で開催されています。その思いは、すべての働く者・生活者のために運動の先頭に立って取り組む決意が込められています。

メーデーの原点である働く者の「団結・連帯」の意を示し、「働くことを軸とする安心社会」を実現するために、心ひとつに結束することを誓い合い挨拶とします。共に頑張りましょう。第96回メーデー万歳！

以上